

# ステレオレコードプレーヤー

## 取扱説明書

---

準備する

---

レコードを聞く

---

レコードを録音する

---

お手入れと部品の交換

---

その他

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告** 電気製品は、**安全のための注意事項**を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

2~3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかりと差し込まれているか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ❶ 本機の電源プラグをコンセントから抜く。
- ❷ 本機とパソコンを付属のUSB接続ケーブルで接続している場合は、USB接続ケーブルを抜く。
- ❸ パソコンの電源を切る。
- ❹ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いて下さい。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### △ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

### △ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

### △ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



指示



スイッチをコンセントから抜く

## ⚠ 警告



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

内部に水や異物が入らないようにする  
機器を水滴のかかる場所に置かないこ  
と。及び水の入った物、花瓶などを機  
器の上に置かないでください。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラ  
グをコンセントから抜き、USB接続ケーブルを  
パソコンと本機から抜いて、お買い上げ店または  
ソニーサービス窓口にご相談ください。



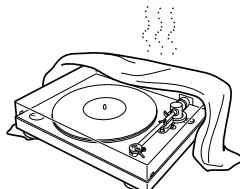
禁止

## ⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をし  
たり周辺の**家財に損害**を与えること  
があります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔を  
ふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたん  
や布団の上または機器を本箱や組み込み式キャ  
ビネットのような通気が妨げられる狭いところ  
に設置しないでください。壁や家具に密接して  
置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げに  
なるようなことはしないでください。過熱して  
火災や感電の原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く  
ダストカバーと本体の隙間や、ダスト  
カバーを外して使用しているときに、  
ヒンジ部などに手をはまれ、けがの  
原因となることがあります。お子さまがさわら  
ぬようご注意ください。



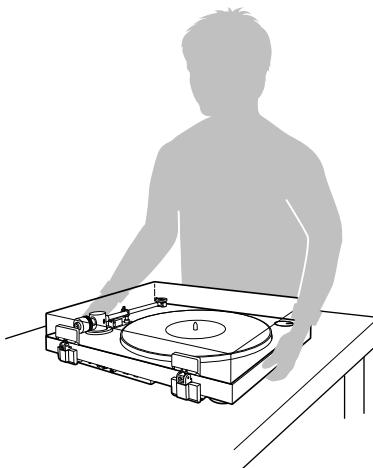
指のケガに  
注意

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使  
用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本  
機に使用すると、モーターとスイッチの接点、静  
電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発  
や火災が発生するおそれがあります。

持ち運ぶ際は本体の下を持つ  
イラストのように本体の下をしっかりと持つ  
ください。

誤った方法で運搬すると、本機が落下し、けがや  
故障の原因となることがあります。



## **本機の特徴**

本機はレコードの曲をアナログ再生するステレオレコードプレーヤーです。

コンピューター接続し、専用アプリケーションを使用することで、レコードをハイレゾ音源として録音できます。

ハイレゾ再生対応機器に転送したり、ハイレゾ再生に対応したコンピューターソフトウェアを使用したりすると、録音したハイレゾ音源を再生することができます。

### **はじめてお使いになるときは**

本機を組立てる必要があります。

本書の説明をよくお読みになり、組立てを行ってください(9ページ)。

### **レコードを聞くには**

本機はスピーカーを内蔵していません。システムステレオやアンプなどのオーディオ機器に付属のフォノケーブルを接続してレコードを再生してください(13ページ)。

### **レコードをコンピューターに録音するには**

本機をUSBケーブルでコンピューターに接続してください。コンピューターに「Hi-Res Audio Recorder」アプリケーションをインストールする必要があります(16ページ)。

### **ご注意**

本機はDJ(ディスクジョッキー)用のアナログレコードプレーヤーではありません。  
ターンテーブルの回転を止める、逆回転させるなどの動作をすると故障の原因となります。

# 取扱説明書について



## 取扱説明書(本書)

本機の組み立て方法や再生・録音などの基本操作、お手入れの方法、消耗部品の入手方法、困ったときの解決方法などを説明しています。



## Hi-Res Audio Recorderヘルプ(Web取扱説明書)

コンピューターにレコードの曲を録音するアプリケーション「Hi-Res Audio Recorder」の操作方法などを説明しています。ヘルプをご覧になるには、<http://rd1.sony.net/help/ha/hrar/>にアクセスしてください。



### ご注意

「Hi-Res Audio Recorder」をお使いになるには、コンピューターに「Hi-Res Audio Recorder」をインストールする必要があります。ダウンロードするには、コンピューターがインターネットに接続している必要があります。

# 目次

本機の特徴	4
取扱説明書について	5
各部の名前と働き	6

## 準備する

付属品を確かめる	8
組み立てる	9
ダストカバーを取り付ける	12

## レコードを聞く

ステレオシステムやアンプと接続する	13
レコードを再生する	14

## レコードを録音する

コンピューターにレコードの曲を録音する	16
---------------------	----

## お手入れと部品の交換

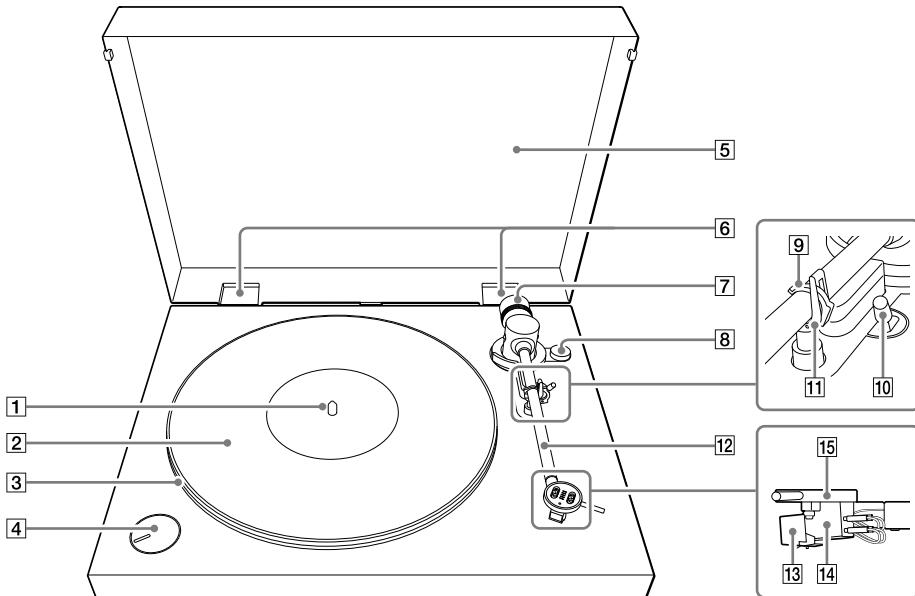
針先のお手入れ	18
レコード針を交換する	18
ドライブベルトを交換する	19
カバーと本体のお手入れ	19

## その他

使用上のご注意	20
困ったときは	20
保証書とアフターサービス	22
主な仕様	23
索引	24

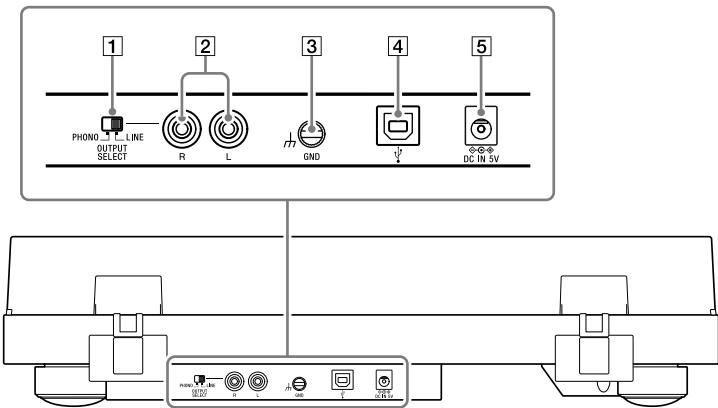
# 各部の名前と働き

## 前面



- [1] スピンドル (9ページ)**
- [2] ラバーマット (8、10ページ)**
- [3] ターンテーブル (8、9ページ)**  
本機を組み立てるときに、スピンドルに差し込んで取り付けます。裏側にはドライブベルトが巻きつけてあります。
- [4] SPEED/POWERノブ (14、17ページ)**  
電源のオン/オフを切り換えたり、再生するレコードに合わせて回転数を切り換えたりします。
- [5] ダストカバー (8、12ページ)**
- [6] ダストカバー用ヒンジ (8、12ページ)**
- [7] カウンターウエイト (8、10ページ)**  
本機を組み立てたあと、トーンアームの水平バランスや針圧値を調整するために使用します。
- [8] アンチスケーティングノブ (10、11ページ)**  
本機を組み立てたあと、アンチスケーティングの調整をするために使用します。
- [9] アームロック (10、14、15ページ)**  
レコードを再生しないときに、トーンアームを固定して衝撃から守ります。
- [10] リフターレバー (14、15ページ)**  
トーンアームを上げたり降ろしたりする際に使用します。  
トーンアームはゆっくりと下がります。
- [11] アームレスト (10、15ページ)**  
レコードを再生しないときに、トーンアームを乗せておきます。
- [12] トーンアーム (10、15ページ)**
- [13] 針先 (18ページ)**
- ご注意**  
針先は精密な部品です。破損させないように丁寧に扱ってください。
- [14] カートリッジボディー (18ページ)**
- [15] ヘッドシェル (15ページ)**

## 背面



### ① PHONO/LINEスイッチ(13ページ)

ステレオシステムやアンプと接続するときには、お使いの機器に合わせて出力方式を切り替えます。

### ② オーディオ出力端子(13ページ)

### ③ $\not\perp$ GND端子(13ページ)

### ④ $\not\perp$ USB端子(Type B)(16ページ)

コンピューターで録音するときに、付属のUSBケーブルで本機とコンピューターを接続します。

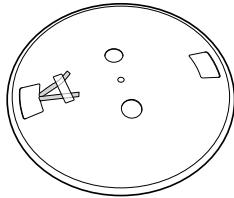
### ⑤ $\diamond\text{c}\diamond$ DC IN端子(13ページ)

## 準備する

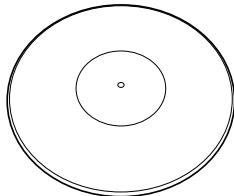
### 付属品を確かめる

次の付属品がそろっているかどうかを確認してください。もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口（裏表紙）にご連絡ください。

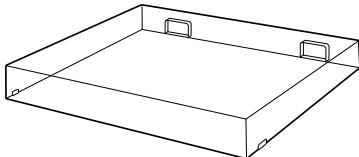
- ターンテーブル（ドライブベルト付き）(1)



- ラバーマット(1)



- ダストカバー(1)



- カウンターウエイト(1)\*

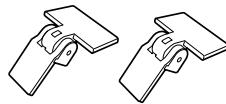


- 45回転アダプター(1)\*

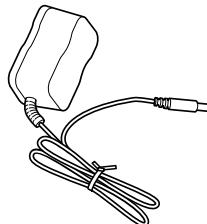
17cmレコードを再生するときに、スピンドルの上に置きます。



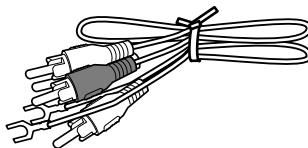
- ダストカバー用ヒンジ(2)\*



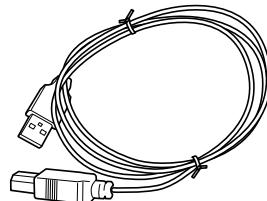
- ACアダプター(1)



- フォノケーブル（アースケーブル付き）(1)



- USBケーブル(1)



- 取扱説明書(本書)

- 保証書

- 「製品登録」のおすすめと「ご愛用者アンケート」のお願い

\* カウンターウエイト、45回転アダプター、ダストカバー用ヒンジは本体梱包材の側面に付いています。

#### ご注意

修理の際などの再輸送のために、梱包材は保管してください。

# 組み立てる

## ご注意

組み立てが完了するまで、ACアダプターを本機と電源コンセントに接続しないでください。

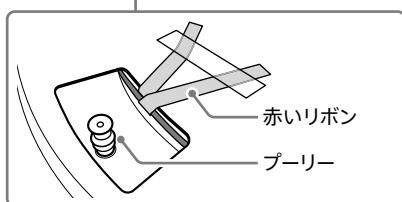
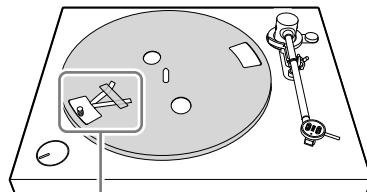
## 設置場所について

レコードプレーヤーは振動に影響を受けやすいため、安定した水平な場所に設置してください。また、以下のような場所には設置しないでください。

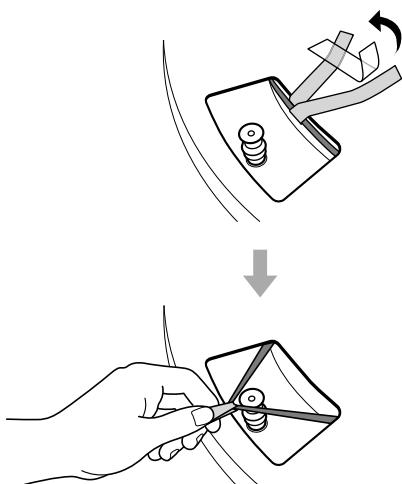
- ・ぐらついた台の上や不安定な場所
- ・じゅうたんや布団の上
- ・湿気の多い所、風通しの悪い所
- ・ほこりの多い所
- ・直射日光が当たる所
- ・極端に寒い所
- ・電波や電磁波ノイズを出すおそれのある電子機器の近く

準備する

- 2** ターンテーブルを回して、赤いリボンが留められている穴からブーリーが見える位置に合わせる。



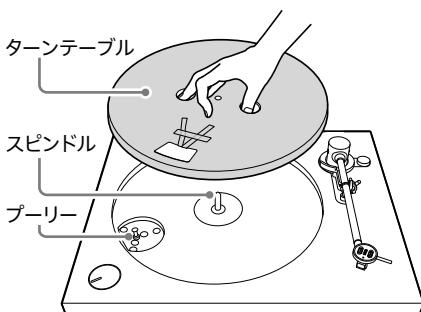
- 3** テープをはがして赤いリボンを引っ張りながら、ドライブベルトをブーリーにひっかける。



## ターンテーブルを取り付ける

- 1** ターンテーブルをスピンドルに差し込む。

ターンテーブルを水平にした状態で、スピンドルに差し込んでください。



## ご注意

ターンテーブルを落とさないように、しっかりと持てください。けがをしたり、本機の損傷の原因になります。

## ご注意

- ・ドライブベルトをねじらないようにご注意ください。
- ・ドライブベルトをブーリーにかけた後は、必ずリボンを外してください。

## 4 ラバーマットをターンテーブルの上に敷く。

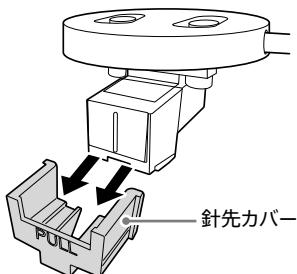
### ご注意

ラバーマットには表と裏があります。裏側には、ソニーロゴが刻印されています。

## トーンアームを調整する

レコード盤に正しい針圧がかかるようにするために、トーンアームが水平にバランス(ゼロバランス)を保てるよう調整します。

### 1 針先カバーを外す。



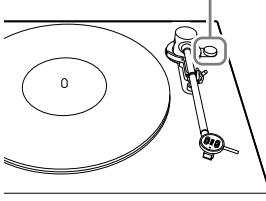
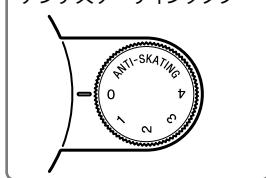
### ご注意

針先カバーを外すときは、針先を傷めないようにご注意ください。

### 2 アンチスケーティングノブが「0」に設定されているか確認する。

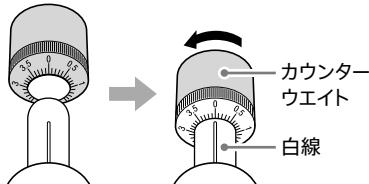
「0」になっていない場合は、「0」に合わせてください。

アンチスケーティングノブ



### 3 カウンターウエイトをトーンアームの後部に取り付ける。

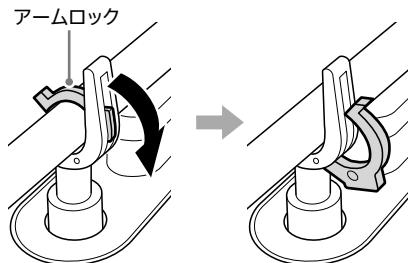
カウンターウエイトを軽く手前に押しながら回して、トーンアームにまっすぐ差し込んでから、矢印の方向へゆっくり回してください。ただし、トーンアーム上の白線が見えなくなるまで、回さないでください。



### ちょっと一言

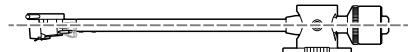
カウンターウエイトは、右に回すと後ろに、左(イラストの黒い矢印の方向)に回すと手前に動きます。

### 4 アームロックを外して、トーンアームをアームレストから離す。



### 5 カウンターウエイトを左右に回して、トーンアームが水平にバランスがとれるように調整する。

少しずつカウンターウエイトを回し、手を離して確認しながら調整するとバランスをとりやすくなります。



### ご注意

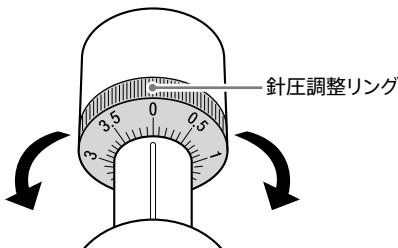
針先がラバーマットやターンテーブルに接触しないようにご注意ください。

### 6 トーンアームをアームレストに戻す。

## 針圧とアンチスケーティングを調整する

トーンアームが水平にバランスをとれることを確認したら、針圧値とアンチスケーティングを調整します。

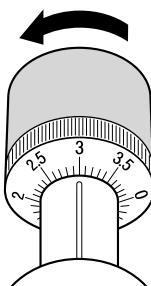
- 1 カウンターウエイトの手前にある針圧調整リングを回して、「0」の目盛をトーンアーム上の白線に合わせる。



### ご注意

後ろのカウンターウエイトと一緒に回さないようにご注意ください。

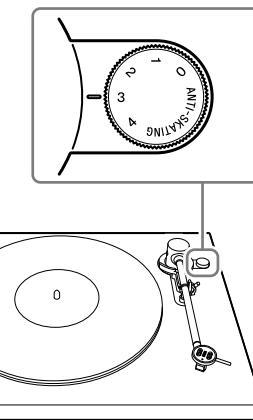
- 2 カウンターウエイトを左に回して、トーンアーム上の白線に針圧調整リングの「3」の目盛が重なるように合わせる。



### ちょっと一言

針圧値は、カートリッジによって適正な数値が決められています。針先やレコードが傷むのを防ぐため、決められた数値に調整してください。本機のカートリッジの針圧値は3 gです。

- 3 アンチスケーティングノブを回して、「3」に合わせる。

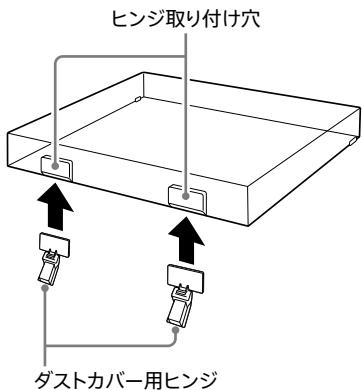


### ちょっと一言

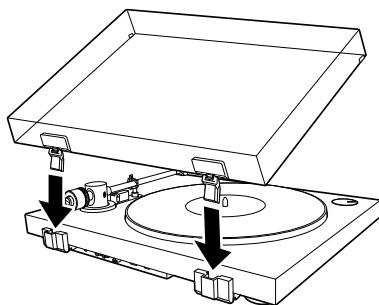
- アンチスケーティングの調整は、レコードを再生中に針先が内側に引っ張られる力を打ち消すため行います。
- 手順2で設定した針圧値と同じ値に合わせる必要があります。

## ダストカバーを取り付ける

- 1 付属のダストカバー用ヒンジをダストカバーに差し込む。



- 2 ダストカバーを本機に取り付ける。



### ちょっと一言

ダストカバーを外すには、ダストカバーを最後まで開いて、ダストカバー後部の側面を両手で持って上へ引き抜いてください。

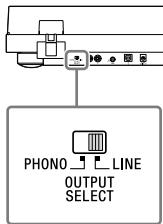
## レコードを聞く

### ステレオシステムやアンプと接続する

#### ご注意

- 必ず、ステレオシステム(アンプ)の電源を切ってから接続してください。
- すべての接続が終わってから、ACアダプターのプラグを電源コンセントに接続してください。

#### 1 背面のPHONO/LINEスイッチがLINE側にセットされているかを確認する。



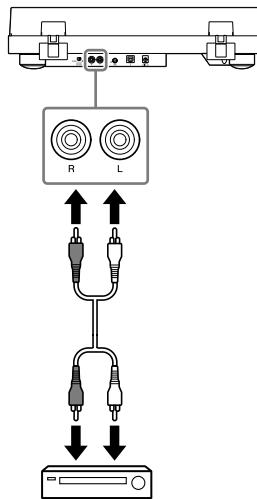
#### ちょっと一言

本機のPHONO出力端子を使って、PHONO入力端子があるステレオシステム(アンプ)に接続したい場合は、PHONO/LINEスイッチをPHONO側に切り換えてください。

PHONO/LINEスイッチをPHONO側にセットしている場合、音声出力レベルは非常に小さくなります。

#### 2 付属のフォノケーブルをステレオシステム(アンプ)のAUX入力端子またはアナログ入力端子に接続する。

白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグを接続します。



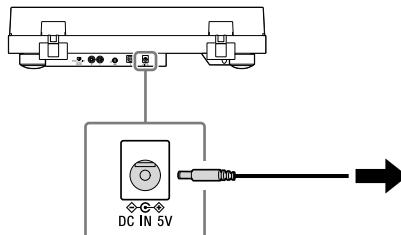
#### ご注意

接続する際はプラグを端子にしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと雑音の原因になります。

#### ちょっと一言

お使いのステレオシステム(アンプ)によっては、PHONO入力端子の近くにGND端子が搭載されている場合があります。その場合、本機とステレオシステム(アンプ)のGND端子にアースケーブルをつなぐと、再生時のノイズが少なくなることがあります。

#### 3 ACアダプターを接続する。



#### ご注意

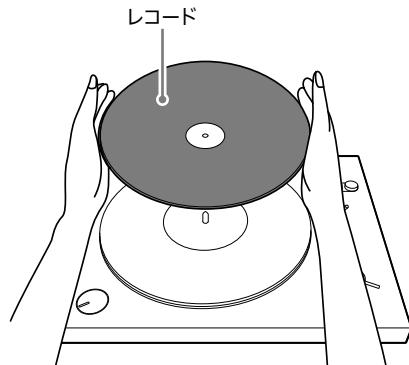
ノイズの影響を避けるため、レコードプレーヤーはACアダプターの本体(ACプラグ側)からできるだけ離して設置してください。

## レコードを再生する

### ご注意

ステレオシステム(アンプ)の音量は、レコードを再生する前に下げておいてください。トーンアームが降り、針先がレコードに触れたときに大きな音(ボツ音)がする場合があり、ステレオシステム(アンプ)やスピーカーを損傷する原因となります。針先が降りてから、音量を調節してください。

### 1 ターンテーブルにレコードをのせる。



### ご注意

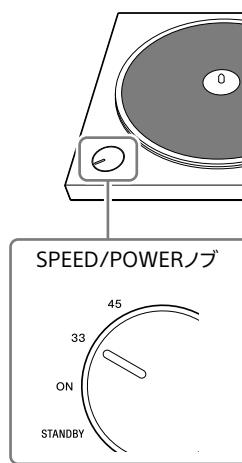
ターンテーブルには、一度に複数のレコードを置かないでください。

### 17cmレコードを再生するには

17 cmレコードを再生する場合は、付属の45回転アダプターをスピンドルの上に置いてください。

### 2 レコード盤に合わせてSPEED/POWERノブの回転速度を選ぶ。

ターンテーブルが回転します。

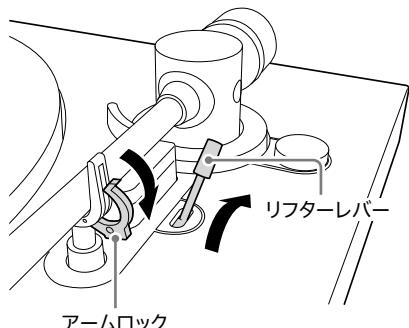


### ちょっと一言

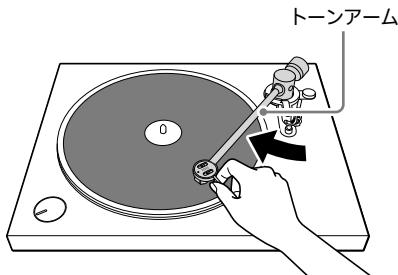
回転数は通常、レコードのジャケットやレーベルに記載しています。

### 3 アームロックを外して、リフターレバーを奥へ倒す。

トーンアームがゆっくりと上がります。



#### 4 トーンアームを再生したい場所まで移動させる。

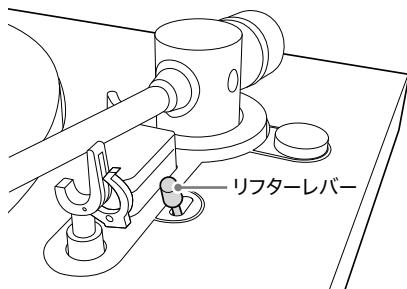


##### ご注意

トーンアームを移動する際は、ヘッドシェル部分を持って移動させてください。

#### 5 リフターレバーを手前に倒す。

トーンアームがゆっくりと下がり、再生がスタートします。



再生を途中で止める場合は、リフターレバーを奥へ倒してください。

トーンアームがゆっくりと上がり、再生が止まります。

##### ご注意

- ダストカバーを閉める場合は、振動で針飛びが起こらないように、ゆっくりと閉めてください。
- 再生中は、トーンアームや回転しているレコードに触れないでください。
- 再生中にターンテーブルの回転を止めないでください。

##### ちょっと一言

リフターレバーを使うと、レコードを傷つけることなく、スムーズにレコードを再生させることができます。

#### 再生が終了したら

1 リフターレバーを奥へ倒す。

2 トーンアームをアームレストに戻す。

3 リフターレバーを手前に倒して、アームロックでトーンアームを固定する。

4 SPEED/POWERノブを「STANDBY」の位置に合わせる。

ターンテーブルの回転が止まり、電源が切れます。

## レコードを録音する

### コンピューターにレコードの曲を録音する

付属のUSBケーブルで本機とコンピューターを接続し、本機専用の録音用アプリケーション「Hi-Res Audio Recorder」を使ってレコードの曲をコンピューターに録音することができます。「Hi-Res Audio Recorder」の使いかたは、インターネットで「Hi-Res Audio Recorder」のヘルプをご覧ください。

<http://rd1.sony.net/help/ha/hrar/>

#### ご注意

- ・録音するには「Hi-Res Audio Recorder」をコンピューターにインストールする必要があります。インストールしないと、本機をコンピューターに接続しても録音できません。
- ・「Hi-Res Audio Recorder」をダウンロードするためには、お使いのコンピューターがインターネットに接続している必要があります。
- ・「Hi-Res Audio Recorder」は録音を行うアプリケーションのため、再生はできません。
- ・本機のUSB出力は、録音専用です。レコードを再生する目的には使用できません。

#### ちょっと一言

コンピューターに録音したハイレゾ音源を別の機器に転送して再生する場合は、ハイレゾ再生対応の機器をお使いください。

## コンピューターの環境

### Windows

OS:

Windows 7 (32/64 bit)

Windows 8 (32/64 bit)

Windows 8.1 (32/64 bit)

Windows 10 (32/64 bit)

(最新のサービスパックを適用していること)

CPU:Intel Core 2プロセッサー 1.6GHz以上

メモリ:1GB以上

画面解像度:1024x768以上

### Mac

OS:

Mac OS X 10.9

Mac OS X 10.10

Mac OS X 10.11

画面解像度:1024x768以上

上記以外のOSは動作保証いたしません。

#### ご注意

- ・ここに記載している動作環境において、すべてのコンピューターについて動作保証するものではありません。
- ・自作PCおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境での動作保証はいたしません。
- ・すべてのコンピューターに対して、システムサスペンション、スリープ(スタンバイ状態)などの動作を保証するものではありません。

### 1 コンピューターに「Hi-Res Audio Recorder」をインストールする。

下記のサポートページから[コンポーネントオーディオ]→[ソフトウェアダウンロード]を選び、「Hi-Res Audio Recorder」のダウンロードページからアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。

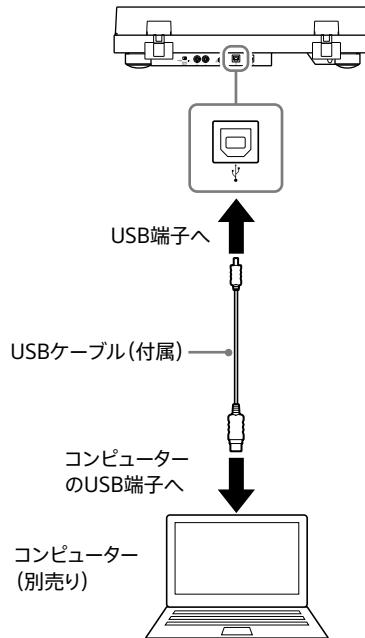
<https://www.sony.jp/support/>

#### ご注意

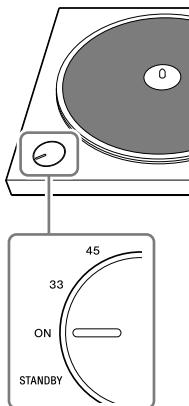
Windowsの最新の更新プログラムが適用されていないと、アプリケーションが正常にインストールされない場合があります。

Windows Updateを起動し、最新の更新プログラムをインストールしてから「Hi-Res Audio Recorder」をインストールしてください。

### 2 本機とコンピューターをつなぐ。



### 3 SPEED/POWERノブを「ON」に合わせて、本機の電源を入れる。



### 4 「Hi-Res Audio Recorder」を使ってコンピューターに録音する

「Hi-Res Audio Recorder」の使いかたやハイレゾ機器への転送方法などは、「Hi-Res Audio Recorder」のヘルプをご覧ください。  
<http://rd1.sony.net/help/ha/hrar/>

#### ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使わないでください。必ず付属のUSB接続ケーブルでコンピューターと本機を直接接続してください。
- USBコネクターはまっすぐ奥まで差し込んで接続してください。斜めに差し込むと故障の原因になることがあります。
- 本機とコンピューターを接続して録音するとき以外は、USBケーブルをはずしておくことをお勧めします。USBケーブルをつないだまま、他のオーディオ機器を接続すると雑音が発生することがあります。
- 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して録音する場合は、本体背面のPHONO/LINEスイッチの位置に関わらずイコライザーによって調整された音声がコンピューターのUSBポートへ入力されます。

## お手入れと部品の交換

### 針先のお手入れ

針先は、非常に精密な部品です。破損させないように丁寧に扱ってください。

針先のお手入れには、市販のクリーナー等をご利用ください。

### レコード針を交換する

針先は、ご使用になる条件によって摩耗、破損したり、クリーナーで汚れが取りきれなくなる場合があります。その際は、針先の交換を行ってください。

交換用針は、最寄りのソニーサービス窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

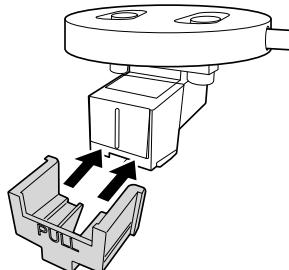
#### ご注意

針先を交換する際は、必ず針先カバーを取り付けてから行ってください。針先だけをしたり、針先を損傷したりするおそれがあります。

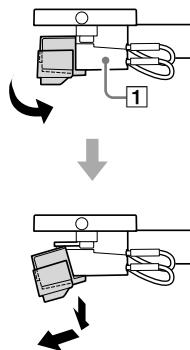
### 針先の外しかた

**1** ターンテーブルとステレオシステム（アンプ）の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから外す。

**2** 針先に針先カバーを取り付ける。



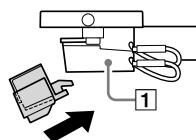
**3** カートリッジボディー部分（**1**）を片手で支えながら、針先を矢印の方向に引き下げ、取り外す。



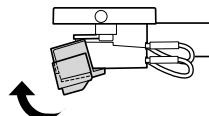
### 針先の取り付けかた

**1** 針先に針先カバーを取り付ける。

**2** カートリッジボディー部分（**1**）を片手で支えながら、交換用の針先のツメをカートリッジボディーの穴に差し込む。



**3** 針先を矢印の方向にカチッというまで押し上げる。



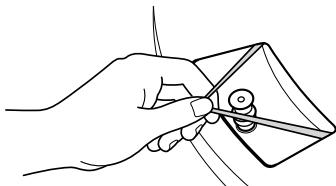
## ドライブベルトを交換する

ドライブベルトは、ご使用になる条件によって劣化したり、切れたりする場合があります。その際はドライブベルトの交換を行ってください。  
交換用のドライブベルトは、最寄りのソニーサービス窓口にお問い合わせください。

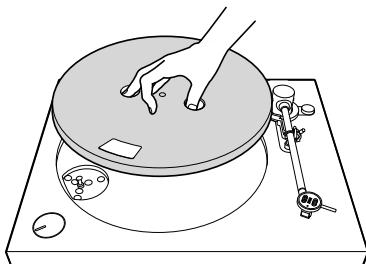
**1** ターンテーブルとステレオシステム(アンプ)の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから外す。

**2** ラバーマットを取る。

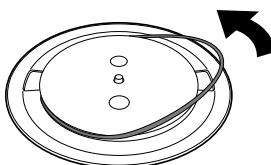
**3** プーリーからドライブベルトを外す。



**4** ターンテーブルの穴に指を差し込み、ターンテーブルを取り外す。



**5** ターンテーブルを裏返して、ドライブベルトを取り外す。



**6** 新しいドライブベルトをねじれないようターンテーブルに取り付ける。

以降、本機の組み立て方法について詳しくは、「組み立てる」(9ページ)をご覧ください。

### ご注意

交換用のドライブベルトには、目印の赤いリボンは付属しておりません。

## カバーと本体のお手入れ

ダストカバーと本体の汚れは、柔らかい乾いた布でふいてください。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

## その他

### 使用上のご注意

#### 録音についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

#### ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかかるないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットシンボルマークです。

#### 商標について

- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Mac、Mac OSおよびOS Xは米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- DSDは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

## 困ったときは

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

### レコード再生

#### USB端子につないだコンピューターやオーディオ機器で再生できない

- 本機で再生するには、システムステレオやアンプに、付属のフォノケーブルを使って接続してください。(8ページ)
- USB端子は、本機専用アプリケーション「Hi-Res Audio Recorder」でコンピューターに録音するときに使用します。オーディオ機器の接続にはご使用になれません。

#### トーンアームが飛んだり、滑ったりする、または前進しない

- カウンターウエイトの調整が正しく行われていません。針圧を合わせるときには、針圧調整リングではなくカウンターウエイトを回してください。(11ページ)
- ターンテーブルが水平になっていないので、プレーヤーを水平な場所の上に置いてください。
- レコードが汚れているか傷ついているので、市販のレコード専用クリーニングキットでレコードをふくか、または他のレコードと交換してください。

#### 正常な音質が得られない

- 針先が汚れていてノイズが多い場合は、市販のレコード針専用のクリーナー等でお手入れしてください。針先が消耗している場合は、消耗した針先を交換してください。(18ページ)
- 音が不安定にゆれる場合は、ドライブベルトが劣化している可能性があります。ドライブベルトを交換してください。(19ページ)
- レコードにホコリや塵が付いていてノイズが多い場合は、レコード専用クリーナーでレコードをふいてください。
- 針圧やアンチスケーティングの設定を正しく行ってください。(11ページ)
- 針先が摩耗しています。針を交換してください。(18ページ)

## 低いうなり音や低周波ハウリング\*が起こる

本機の設置場所がスピーカーに近すぎるので、本機をスピーカーから離してください。

- \* この現象は「音響フィードバック」と呼ばれています。スピーカーの振動が空気や固体(棚、キャビネット、床等)を通してプレーヤーに伝わり、針先に拾われ、増幅され、スピーカーから再生された場合に生じます。

## 雑音が入る

- 本機背面のPHONO/LINEスイッチの設定を確認してください。PHONO側に設定した状態で、本機をステレオシステム(アンプ)のPHONO入力端子以外の入力端子を使って接続していると雑音が入ることがあります。背面のPHONO/LINEスイッチをLINE側にしてください。
- また、LINE側に設定しているときは、本機をステレオシステム(アンプ)のPHONO入力端子を使って接続しないでください。
- 本機がコンピューターとUSBケーブルで接続されていないか確認してください。USBケーブルをつないだまま、ステレオシステム(アンプ)などと接続すると、雑音が発生することがあります。

## 音程が高すぎる／低すぎる

- 回転速度が誤っているので、レコードに記載されている回転速度に合せてください。33-1/3 r/minのレコードではSPEED/POWERノブを「33」に、45 r/minのレコードではSPEED/POWERノブ「45」に設定してください。
- ドライブベルトがねじれていたり、劣化していたりする場合があります。ねじれを取り除いてください。(19ページ)

## 音程が不安定

- 針圧やアンチスケーティングの設定を正しく行ってください。(11ページ)
- 針先が摩耗しています。針を交換してください。(18ページ)

## ドライブベルトが劣化している／切れている

ドライブベルトを交換してください。(19ページ)  
ドライブベルトについては、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

## ターンテーブルが回転しない

- ACアダプターが壁のコンセントと本機のDC IN端子にしっかりと接続されているか確認してください。
- ドライブベルトがモーターのプーリーに完全に掛かっているか確認してください。(9ページ)

## 再生音が小さすぎる、または歪んでいる

本機を接続したステレオシステム(アンプ)の入力端子と本機のPHONO/LINEスイッチが、お使いのステレオシステムに合わせた設定になっているか確認してください。(13ページ)

## インストール

### コンピューターに「Hi-Res Audio Recorder」をインストールできない。

- ダウンロード方法やインストール方法について詳しくは、下記のサポートページから[コンポーネントオーディオ]→[ソフトウェアダウンロード]を選び、「Hi-Res Audio Recorder」のダウンロードページを参照してください。  
<https://www.sony.jp/support/>
- お使いのコンピューターがインターネットに接続されているか、確認してください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、ステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。

保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は経済産業省の指導にもよるものです。

### ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名:PS-HX500

シリアルナンバー:本体の背面に記載

故障の状態:できるだけ詳しく

購入年月日:

お買い上げ店:

使用上の誤りにより、針先とドライブベルトを損傷、消耗、摩耗した場合、交換は有償になります。

## 主な仕様

### モーター/ターンテーブル

駆動系	ベルトドライブ
モーター	DCモーター
ターンテーブル	直径296 mm、ダイキャストアルミ合金
回転速度	2速(33-1/3 r/min、45 r/min)
ワウ&フラッター	0.1 % (WRMS)
S/N比	50 dB以上(DIN-B)、付属カートリッジ使用時

### トーンアーム

型式	ストレートアーム
実効アーム長	221 mm

### USB部

出力端子	USB タイプB USB 2.0
------	---------------------

### カートリッジ

タイプ	MM
針圧	3 g
出力レベル	2.5 mV

### 電源、その他

電源	DC 5 V 2.0 A(ACアダプター)
消費電力	3 W
最大外形寸法	430 × 104 × 366 mm(幅／高さ／奥行き)
重量	約 5.4 kg

### ACアダプター

入力	AC 100 V, 50/60 Hz 0.35 A 23 VA
出力	DC 5 V 2.0 A

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

---

# 索引

- 45回転アダプター ..... 8, 14  
ACアダプター ..... 8, 13  
DC IN端子 ..... 7, 13  
GND端子 ..... 7, 13  
Hi-Res Audio Recorder ..... 5, 16, 17, 21  
PHONO/LINEスイッチ ..... 7, 13  
SPEED/POWERノブ ..... 6, 14, 15, 17  
USBケーブル ..... 8, 16  
USB端子 ..... 7, 16, 20  
アームロック ..... 6, 10, 14, 15  
アフターサービス ..... 22  
アンチスケーティングノブ ..... 6, 10, 11  
インストール ..... 16, 21  
オーディオ出力端子 ..... 7, 13  
カートリッジボディー ..... 6, 18  
回転速度 ..... 14  
カウンターウエイト ..... 6, 8, 10  
商標 ..... 20  
スピンドル ..... 6, 9  
ターンテーブル ..... 6, 8, 9, 21  
ダストカバー用ヒンジ ..... 6, 8, 12  
調整 ..... 10, 11  
トーンアーム ..... 6, 10, 11, 15, 20  
雑音 ..... 21  
針圧値 ..... 11  
針圧調整リング ..... 11  
プーリー ..... 9, 19  
フォノケーブル ..... 8, 13  
ヘッドシェル ..... 6, 15  
ラバーマット ..... 6, 8, 10  
リフターレバー ..... 6, 14, 15







## 型名: PS-HX500

モデル名、シリアルナンバー(製造番号)は、本体の背面に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは  
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

### 使い方相談窓口

フリーダイヤル ..... 0120-333-020  
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... 050-3754-9577

### 修理相談窓口

フリーダイヤル ..... 0120-222-330  
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... 050-3754-9599  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、  
最初のガイダンスが  
流れている間に  
「306」+「#」  
を押してください。  
直接、担当窓口へ  
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



\* 4 5 8 5 8 3 4 0 2 \* (2)